

なぜかライオンズクラブには、 多くの誤解もあります。

ライオンズクラブには多くの誤解や偏見が存在しているのも事実です。たとえば、時おり耳にするのは「ライオンズクラブはお金と時間に余裕のある人の会でしょう」とか、「名誉や地位のための慈善活動でしょう」とか、多かれ少なかれ勘違いをしている人がいます。また、日本ではまだまだほんとうに奉仕活動を理解していない人が多いことも残念でなりません。まず、世界で必要とされ、頼りにされているライオンズクラブを正しく認識してほしいのです。

ライオンズクラブの黎明期である1925年、アメリカのアイオワ州でライオンズクラブの第九回国際大会が開催され、ゲストに招かれた“三重苦の聖女”ヘレン・ケラーが次のように訴えました。

「あなたのランプの灯をいまし高く掲げてください。見えない人びとの行く手を照らすために。扉をたたきますから、どうぞ中に入れてください。私たちが求めるのは、お金よりも温かい心です。あなたの温かい愛の光に照らされたとき、すべての不幸な人たちに、ほんとうの幸せが訪れるのです」。そして最後に「ライオンよ、盲人たちの闇を照らす光の騎士となれ」と訴えました。以来、それはライオンズクラブの中心事業として、今日まで連綿と受け継がれてきています。



ライオンズは地元のコミュニティだけでなく、世界各地で援助を行っています。

○ ライオンズとは？

ライオンズは、地域そして世界のニーズに応じています。206の国や地域で活動する140万人のライオンズ会員は、「コミュニティとは自分たちが作るもの」という基本的信念を共有しています。

○ ライオンズの奉仕

ライオンズは、視力保護で成功を収めていることで有名ですが、ライオンズの奉仕は多岐に渡り、多くの問題に対処するボランティア活動を行っています。環境保護、飢餓対策、高齢者や障害者に対する支援などがその一例です。

○ ライオンズは世界を変える力

ライオンズクラブ国際協会の慈善組織であるライオンズクラブ国際財団(LCIF)は、地域および世界規模の人道奉仕活動に交付金を支給して、ライオンズによる善意の活動を支援しています。ライオンズとLCIFは力を合わせて、失明根絶、青少年支援、災害支援など人道的ニーズに対応するために活発な活動を行っています。

○ 336-C 地区について

ライオンズクラブ国際協会の本部はアメリカ、イリノイ州にあります。日本はこの世界の組織の東洋・東南アジア地域に属し、八つの複合地区に分けられます。広島県は中四国9県にまたがる『336複合地区』に属し、当県は336-C地区になります。

当地区は、地域により5つのリジョンと12のゾーンに区分され、82クラブに3,000名を超える会員(含、家族会員)が在籍して奉仕活動に携わっています。

詳しくは <https://www.lionsclubs.org/ja>
<https://336c.org>